



新春
対談

平和文化と共に
進化する広島

心とまちが
奏でる未来

広島市長

松井一寛

歌手

島谷ひとみ

広島出身で平和の発信にも積極的に取り組んでいる歌手の島谷ひとみさんと、松井一寛市長。
新しい年のはじまり、変わりゆくまちを歩きながら「平和文化」について語り合いました。

新年の抱負と
広島への思い

市長 島谷さんにお会いするのは、島谷さんが「PEACE STOCK (ピースストック)」という平和と音楽の祭典を開催する際に報告にいらした時以来ですね。その際はありがとうございました。昨年は被爆80周年の年であると同時に広島駅南口の整備が進み、まち

の風景が大きく変わった年でもあったと思います。未来を見据えたまちづくりはだいぶ進みましたが、いろいろな人に「広島に住んでよかった」「広島に来てよかった」と思ってもらうには、最終的には“ヒロシマの心”を多くの人に受け止めてもらえるまちにしなければなりません。今年はその部分に踏み込んで、平和の尊さについて発信していく年にしたいと思っています。

島谷 今は自然災害も世界の情勢

も緊張感のある状態が続いていますよね。それでも毎年新しい年がやって来る。私も一人の日本人として、また広島出身者として何ができるのかということを考えて、一つ一つ確実に積み上げていく年にしたいと思っています。新しい一年を迎えるたびに、平和を大切に思う気持ちがより一層深まっていくのを感じています。

市長 今は物価高が続く、経済も大変な時代。そうすると心がぐらついて、周りの人を理解する余裕

がなくなるのではないかと心配です。平和というのはお互い様の世界。自分が逆の立場になったらどう思うか考えることが重要です。双方が一緒によくなるにはどうすればいいか。そこに希望を持つことのできる生活環境を目指したいです。

島谷 当たり前のことを当たり前で喜んだり、感謝したり。そうした優しい思いなどのプラスの感情の波が大きくなっていくことを期待したいですね。